

令和３年度 学生FD CHAmmiT 学部提案書に基づく改善報告書

【松戸歯学部】

1 学生との協議の場について	
実施日	実施内容
令和4年3月17日	令和3年度CHAmmiTに参加した学生3名及び学部長，学部次長，学務担当，FD委員会委員長，学務委員会副委員長，教務課が対面形式により学部提案書の実現に向けた意見交換を行いました。

2 学部提案書の対応について				
① 昨年度報告書の状況				
項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
教員と学生間の交流の場を増やすことを求める。		○		感染症の流行により学園祭ほか多くの行事がオンライン方式の開催または止むを得ず中止しております。流行状況は常に変化することから、状況を見極め、学生の安心安全を第一に考え、適切な方法で行事を実施し、教員、学生間の親睦を図る場の検討を進めて参ります。
より良い学修のために講義実施日と実習実施日を分けることを求める。			○	令和4年度は従来どおり講義，実習を混在する時間割で授業を実施いたします。なお，令和6年に供用予定の新校舎における授業では，学年毎で講義を実施する日，実習を実施する日を分ける等，学生により効率的かつ効果的な教育の実施に向けて検討を進めて参ります。
学生が利用可能な教室内のWIFI環境の改善を求める。	○			令和3年度中に各学年の教室のWIFI機器を増強し，環境を改善いたしました。
オンライン授業の優秀な教員に対する表彰の実施を求める。			○	学生主体の評価となるため，学生会が中心となって実現できるよう，学生及び教職員での検討を進めて参ります。

② 新たな課題				
項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
遠隔授業に伴うオンデマンド配信（録画）の期間を延長してほしい。		○		令和4年度の授業実施方針を検討し，昨年度に引き続き対面授業を軸としたハイブリット授業（対面授業のライブ配信及びオンデマンド配信〔録画配信〕）を実施いたします。オンデマンド配信（録画配信）の期間は教育効果を考慮して基本的には講義終了から1か月間といたします。ただし，定期試験前の期間や過年度の録画が視聴できる等，より皆さんの学修に活用できるような取扱い方の検討を進めて参ります。
成績公開ページによる学業成績の公開を継続してほしい。	○			令和4年度も昨年度に引き続き，平常試験等の各個人の学業成績及び全体比較等の指標を成績公開ページにて公開いたします。自身の学修意欲の向上等に役立てていただくことを期待します。
学生の学修スタイルや学修に用いる媒体が多様化しており，それに合った授業の実施や教材の作成を先生方をお願いしたい。		○		学生の学修習慣の多様化やコロナ禍を受けて，教員一人ひとりの教育スキルの向上も課題となっております。本学では全学のFD活動として，より良い遠隔授業の配信方法や配布資料の作成等に関する各種研修をZoomを用いて実施しており，その模様のアーカイブを作成しております。今後も様々な取り組みで各教員の教育スキルの向上に向けた取り組みを実施して参ります。

③ 「IT化と大学教育」へ向けての提案について				
項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
教員が学生に対して配布する授業資料の仕様や量について統一してほしい。	○			学生からの意見を受け，各教員に対してはオンライン上で配布する授業教材等の仕様（白黒やグレースケールでA4サイズ4～6枚程度とする）を順守するよう通達しております。令和4年度の授業においても今一度，教員間での情報共有を図り，適切な授業資料の提供を心掛けます。また，授業資料の提供に関連して，オンライン上での授業配信及び教材等の配信（いわゆる公衆配信）には著作権の取扱いに関して特段の留意を要することから，専門家を招いた教員向け講演会（令和3年11月29日実施）の実施により教員一人ひとりの著作権に対する理解促進を図っております。
学修支援システム，ウェブクラス，Googleカレンダー等学修に用いる学生向けのシステムが複数存在しており，分かりづらい部分を改善してほしい。		○		コロナ禍によるハイブリット授業が始まり，授業資料は主にGoogleカレンダーに添付するよう各教員には通達しております。Googleカレンダーの当該授業のページにウェブクラスの課題等のリンクを貼付する等，複数のシステムを用いても学生が迷うことなく学修に取り組めるよう方法を検討し，教員間での情報共有をいたします。
授業評価アンケートの活用により授業の充実，改善を図ってほしい。			○	通年科目の場合は前期終了後にアンケートを実施。半期科目の場合は中盤の平常試験後にアンケートを実施し，その結果を受けた教員は残りの講義にアンケート結果を活かすことができるよう心掛けます。また，アンケートの効果検証を学生（クラスオフィサー）に協力してもらえる仕組みづくりを検討いたします。
教員のオフィスタイムを充実してほしい。		○		各教員のオフィスタイムはシラバスに明示するほか，講義資料の最終ページに質問フォーム（QRコード）を示し，学生が積極的に質問等ができる機会を作って参ります。
教室の一部の席では講義資料が映る教室中央のスクリーンが見づらいのでモニターなどを設置してほしい。			○	令和6年の新校舎の供用開始と同時に現在の校舎（教室）は使用を終了いたします。そのため要望のあったモニター等の新たな設置はいたしません。なお，令和4年度は昨年度と異なり，皆さんの着席位置を自由といたします。（ただし4人掛けの座席に3人までの着座とします）ご自身の学修に適した座席を利用してください。

※①～③については，令和4年4月1日現在の対応内容となっており，今後の状況によって変更する可能性があります。

3 松戸歯学部から学生へのメッセージ	
感染症の流行が続く中でも松戸歯学部で歯科医師を志す皆さんの強い意志を感じます。 今回の協議では，主に遠隔授業の質の向上に向けた建設的な意見交換ができました。課題の解決には皆さんの協力が欠かせません。日ごろの授業で疑問に思ったことなどがありましたら教職員にお知らせください。 松戸歯学部はこれからも皆さんの安心安全を第一に考え，より良い教育を提供し，社会や歯科医学に貢献できるよう取り組んで参ります。	